

## 新たなビジネス事例

# 印刷イノベーション最前線!

このニュースレターでは、優れた印刷事例や、印刷以外の分野での先進的な取り組みをコンパクトにお届けします。

### 地域活性化を担う新事業開拓例

## 廃墟をリノベーション 「アート」と「食」を融合させた 地域観光を活性化する施設を運営

株式会社井上総合印刷(栃木県宇都宮市)

栃木県で地域に根差した印刷事業を展開している株式会社井上総合印刷(本社：栃木県宇都宮市岩曾町1355番地、代表取締役社長 井上加容子)は、官公庁・商業印刷物のほか、図録や記念誌、写真集、自費出版の書籍などを幅広く手がけている。

同社は、宇都宮市内の観光地にて長年廃墟となっていた旧山本園大谷グランドセンターの建物を取得し、このほどリノベーションを終え、「大谷グランド・センター」(所在地：宇都宮市大谷町1396-29)として運営を開始した。

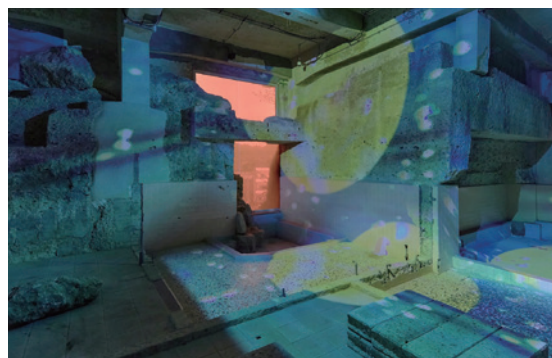
歴史を継承して再生された新施設「大谷グランド・センター」は、土地の取得から構想9年をかけてリノベーションを行った。

1階は、世界的に注目されるアーティスト YOSHIROTTEN (ヨシロットン)初の常設展示と企画展



大谷グランド・センター外観

ギャラリーとして活用。2階はレストランとカフェ・ショップを設け、栃木県出身の料理人やパティシエが監修した料理やスイーツを提供する。また屋上はテラスを設け、展望スペースとして開放している。



施設内の様子(YOSHIROTTEN氏の作品)

井上社長は「大谷の街並みや自然を一望できる上に、大谷石の岩山の地形を活かした魅力的な建築を遺すべきだと判断し、再構築に踏み切りました。県内外はもとより世界中からの来訪者も呼び込み、新たな体験が出来る拠点にしていきたい」と述べる。

印刷会社であることから、「文化を残し伝えるをテーマにしており、大谷の四季折々の自然、採掘の原風景をコンセプトに、アートと食を融合させて五感で楽しんでいただける体験施設になっています」とのことだ。

なお、1階の YOSHIROTTEN の常設展示は、大浴場だったスペースを活かし、大谷石の採掘場等をフィールドリサーチして作り上げた音と映像のインスタレーション作品が常設されている。

取り残されていた廃墟を再生し新たな観光施設として運営することで、地域観光の活性化に貢献するとともに、持続性のある事業を展開している。